チャレンジ問題

「情報 I」科目ではどんな出題が？

来年 1 月 18，および 19 日に本試験が実施される予定の大学入学共通テストの出願が締め切られました。現役の高 3 生から新課程での履修となったことから，この試験から共通テストはこの新課程に対応したものになります。教科数は従来の 6 教科から，「**情報**」教科を加えた 7 教科となります。

履修課程が更新されるたび，共通一次試験やセンタ試験の時代もそうであったように，旧課程を履修した過年度生に対する配慮（救済措置）として，今回テストにも「経過措置」が導入されます。ただし，今回は（これまでの課程更新と異なり）**教科数が増える**うえ，ほとんどの国公立大学が共通テストでの「情報 I」受検を必須とするため，それにともなう齟齬を避ける目的で（と思われる），**過年度生は**経過措置を受ける場合でも**「情報」の試験を受ける必要があります**。これは，本人の過去の履修の有無と関係ありません。ただし，経過措置として，新課程生が受ける「情報 I」の試験内容とは異なるものが用意されます。

知らない人がいるかもしれませんが，実は**過年度生であっても，すべての教科を（経過措置用でない）「新課程用」で受検してもかまいません（情報教科についても，「情報 I」で受けてもかまわないです）**。もっとも，教科によっては出願段階で問題冊子を指定しないといけないものがあるため，そこですでに旧課程用を指定して出願した場合には，当日，新課程用を受けることはできません。また，その**逆（現役高 3 生が旧課程「経過措置」用を受ける）は認められていません**。令和 8 年度入学者向けテストではもはや経過措置は設けられていない可能性が高いため，過年度生は来年 1 月のテストで何とか成功したいものです。過年度生でも予備校等に通っている人はそこで正しい情報を得られているとは思いますが，「宅浪」等，自身で情報を集めなければならない過年度生は，まずは大学入試センタのウェブサイトから正しい一次情報を得るようにしましょう。

現高 3 生は学校により一年次，ないしは二年次に情報教科の「情報 I」科目を履修しているため，情報 I 科目の全体像は把握していると思いますが，共通テストでの出題がどんなになるかについては，何せはじめての年度なので不安に思っている人も少なからずいるかもしれません。あるいは，共通テストの模擬試験を学校内外ですでに複数回受けているため，あらかた傾向はわかったという生徒もいるかもしれません。とりもなおさず実際の**本番試験を作成するのは大学入試センタ**であり，予備校等も現段階では，**入試センタの公表した“試行問題”を参考にして模擬問題を作成している**にすぎないので，必ず**入試センタの試行問題に目を通して**おきましょう。このことは，すでに刊行されている共テ「情報 I」対策の学参や問題集についても同じことです。

なお，「コンピュータ・プログラミングの習得・習熟の一番の早道は実際にプログラミングしてみること」の原則により，高校「情報」の教科書においては，Python などの具体的な言語を用いて授業を進めるようになっているものもありますが，共通テストの「情報」では具体的な特定のプログラミング言語は登場しません。学習指導要領で特定のプログラミング言語を修得することは求めていないからです。共通テスト本番で登場するのは，おそらく（試行問題でも使用されている）クーリエ・フォントを変数に用いた“仮想言語”だと思われます（例：`variable[0]` ＝“先頭の値”）。実際のプログラミングにおいても最も大切なものは，何か特定の**言語の文法を習得することではなく，アルゴリズム**です。「与えられた課題を成し遂げるためには，どういった考えをし，どんな手順を踏めばよいか」です。共テ対策としての特定言語の文法の勉強は無意味です。

また，プログラミング自体，出題の中の一つにすぎません。**「情報・通信リテラシ」の出題も必ずあるので**，再度言いますが，入試センタの試行問題には必ず目を通しておきましょう。

「**試作**」問題と「**サンプル**」問題はどちらも、次のページからたどってください：

https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7/r7_kentoujoukyou/

令和 7 年度入学者向け試験のその他の情報については、大学入試センタのウェブサイト・トップ（https://www.dnc.ac.jp/）へ行き、**必ず最新の情報**：

https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7/

を見るようにしてください。